



REAR CAMERA ADAPTER

RCA124M

リアカメラ接続アダプター 取付/取扱説明書



RCA124M-2607AKN-1

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取付/取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時に
お読みください。

本製品は、三菱車のマルチアラウンドモニターの映像を、ピン端子(RCA)で出力するアダプターです。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- カメラ接続アダプター ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- 切替スイッチ ×1
- 結束バンド ×5
- オスギボシ&スリーブ ×2
- 両面テープ 大×1・小×1
- メスギボシ&スリーブ ×2

保証書/ユーザー登録について

- 保証書は同梱しておりません。
保証規定の詳細につきまして「お客様サポート」内の「製品保証について」をご確認ください。
- ユーザー登録は任意です。ユーザー登録を行うと登録者向けキャンペーンやリコール情報等
いち早くお知らせします。



専用WEBサイトよりご登録ください。

<https://www.datasystem.co.jp/user/index.html>

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>



弊社製品紹介・製品取付 動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・
掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

注意事項

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。

① 重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- 取り付けのナビゲーションにリアカメラ入力端子(ピン端子)があることを確認してください。
- 本製品はメーカーオプションのマルチアラウンドモニター映像を、ピン端子(RCA)で出力するハーネスです。この接続アダプターに、ディーラーオプションや市販のリアカメラには取り付けできません。
- 必要な場合はビデオ延長ケーブルを別途で用意ください。
- マルチアラウンドモニターの使い方、注意事項につきましては車両の取扱説明書をよくお読みください。
- マルチアラウンドモニターの映像、動作は、車両装備の仕様に基づきます。
- 本製品でマルチアラウンドモニターの映像を映したときは、その後一時的にナビゲーションの自車位置が不正確になります。またナビゲーションの機種によっては車速信号の異常メッセージが表示される場合があります。
- 本製品で出力したカメラ映像はHD画質ではなく標準画質のため、ディスプレイサイズによっては映像が粗く見えます。

⚠ 注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

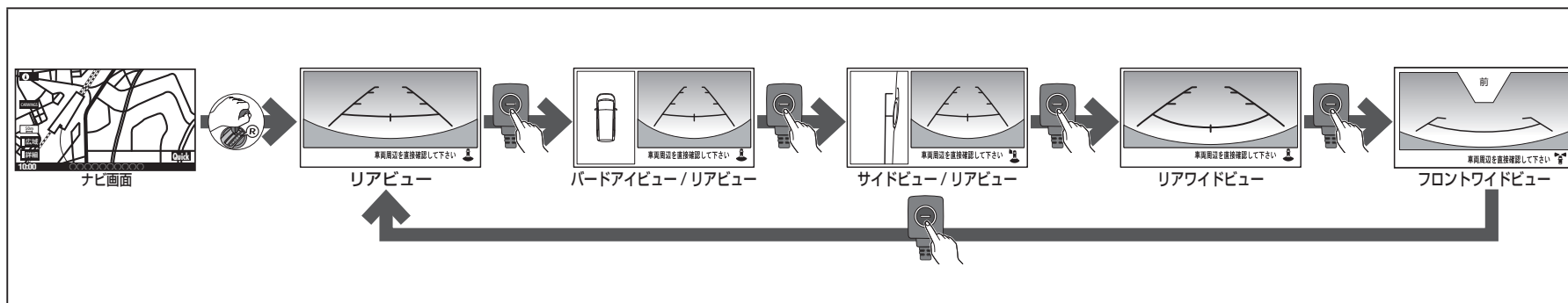
- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計等のメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモリーしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターおよびチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外してください。本製品を含み、アフターパーツ類を取り付けている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクターを外すときは、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、車両側の基板が破損する恐れがあります。
- 絶対に配線部分を引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクターを接続するときは、カチッと言音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 端子を接続するときは、奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクターの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性のある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線等の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要です。販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません、あらかじめご了承ください。

使用方法

- ❗ 重要**
- マルチアラウンドモニターは車両の仕様に基づき動作します。使い方や注意事項につきましては車両取扱説明書もよくお読みの上で使用ください。
 - ルームミラーのマルチアラウンドモニターは製品装着後も動作します。
 - パーキングセンサー・MOD機能は製品装着後も動作します。
 - 製品の切替スイッチはACC-ONで点灯したままになります。
 - ナビゲーションのガイド線と重複する場合はナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージを消すことができず、重複して表示されたままになる場合がございます。
 - マルチアラウンドモニター映像が表示されている間はナビゲーションの自車位置にズレが生じます。
 - ナビゲーションによっては映し出される映像の範囲が異なる場合がございます。
 - ルームミラーの[CAMERA]スイッチでも各ビューの切り替え操作が可能です。
 - 純正ステアリングのカメラスイッチは使用できません。



【R(リバース)】の時



使用方法



[R(リバース)]以外の時

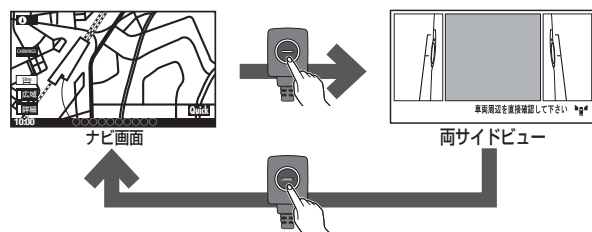
時速10km/h未満の時



時速10km/h以上、時速30km/h未満の時



時速30km/h以上の時



重要 ●製品の切替スイッチまたはルームミラーの[CAMERA]スイッチを押してカメラ映像を表示した後、何も操作せず3分以上経過すると自動的にナビゲーションは元画面へ切り替わります。

取付方法1

デリカD:5

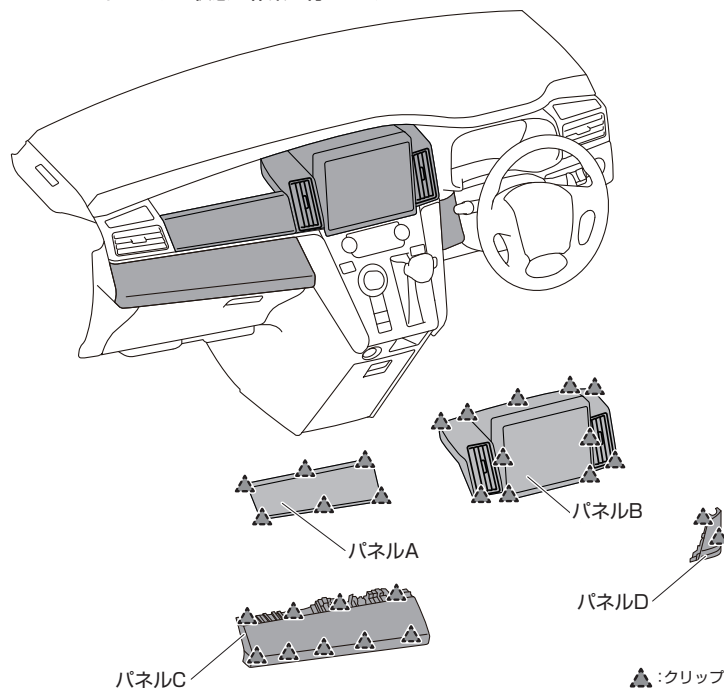
マルチアラウンドモニター装着車

CV1W

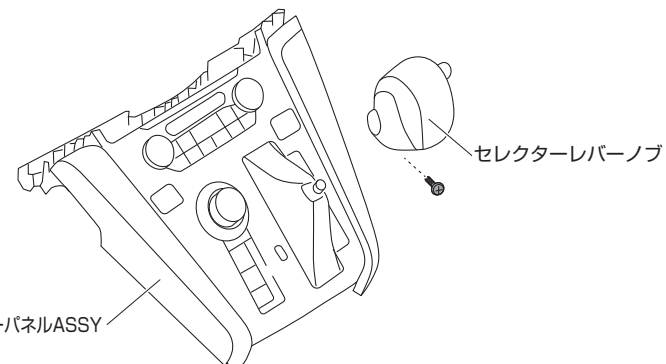
R8.1～

取り付けの前に

- ナビゲーション本体が正常に動作し、バック時にナビゲーションの画面がカメラ映像画面に切り替わることを確認してください。
- パーキングブレーキをかけた状態で作業を行ってください。

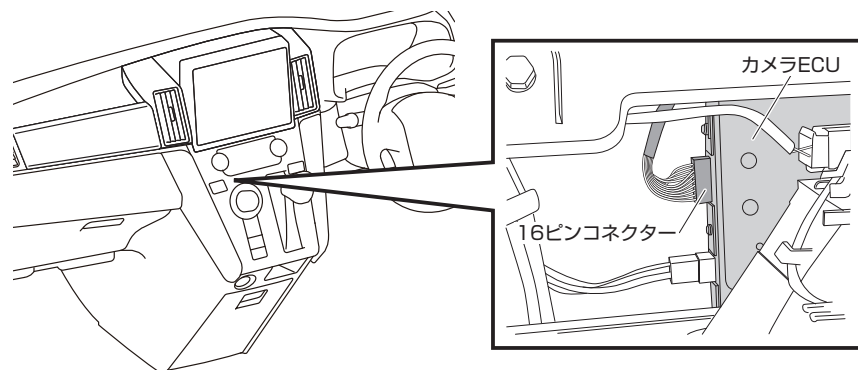


1. バッテリーのマイナス端子を取り外す
2. パネルA (パネル、インスツルメント、アシスタントサイド) をクリップのかん合を外して取り外す
3. パネルB (パネル、インスツルメント、センタ) をクリップのかん合を外して取り外す
4. パネルC (インスツルメントパネルパッド (運転席側)) をクリップのかん合を外して取り外す
5. パネルD (インスツルメントパネルパッド (助手席側)) をクリップのかん合を外して取り外す



6. セレクトーレバーをPレンジの状態にしてブーツリングを引き下げる
7. セレクトーレバーをNレンジにしてスクリューを取り外す
8. セレクトーレバーノブを取り外す
9. シフトインジケーターパネルASSYを浮かせる

本製品の接続先はカメラECUとなります。次ページ(取付方法2)を参照して接続をしてください。



取付方法2

1. ナビゲーション本体を取り外します。
2. 接続概要図を参照して、バック信号線、車速信号線をそれぞれ接続します。
3. カメラECUの16ピンコネクタへ本製品の16ピンコネクタを割り込ませて接続します。
4. 装着するナビゲーションのリアカメラ映像入力端子に本製品のピン端子を接続します。
5. 本製品の3ピンコネクタに、切替スイッチを接続します。
6. GND線(黒線)のクワ型端子をボディーアースに接続します。
7. ACC線(赤線)をアクセサリ電源線に接続します。
8. ナビゲーションが動作する状態まで内装を復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
9. シフトレバーを「R(リバース)」にして、ナビゲーションの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
10. 「R」以外にシフトを動かしたとき、ナビゲーション画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。
11. 次に本製品の【切替スイッチ】を押して、ナビゲーションの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
12. 取り外したパネル類を元に戻し、取り付け作業は終了です。

●シフトレバーを「R(リバース)」にしてもカメラ映像が表示されない場合

1) 画面が切り替わらない場合

以下の項目を点検してください。

- ・ナビゲーションのメニュー項目でバックカメラの設定※を確認してください。
- ・RCA124MのACC(赤線)およびGND(黒線)の接続を確認してください。
- ・バック信号線の接続を確認してください。

①バック信号入力(緑線)の確認

RCA124Mのバック信号入力(緑線)が、車両のバック信号線へ正しく接続されていますか。シフトレバーを「R(リバース)」にしたとき、RCA124Mのバック信号入力(緑線)に12Vが入力されていることを確認してください。

②バック信号出力(紫線)の確認

RCA124Mのバック信号出力(紫線)が、ナビゲーションのバック信号線※へ正しく接続されていますか。
ナビゲーションのバック信号線※を車両のバック信号線へ直接接続している場合は、RCA124Mのバック信号出力(紫線)へ接続を変更してください。

2) ナビゲーションの画面は切り替わるが、カメラ映像が表示されない場合

以下の項目を点検してください。

- ・RCA124MのRCA端子(黄色)はナビゲーションのバックカメラ入力端子※に正しく接続されていますか。
- ・接続する機器によっては別途入力変換ケーブルが必要になる場合もあります。
- ・ナビゲーションのメニュー項目でカメラ種別やカメラ方式の設定※がある場合、「ノーマルカメラ」または「汎用カメラ」に設定されていることを確認してください。

●シフトレバーR時以外のときに切替スイッチを押してもカメラ映像が表示されない場合

- ・RCA124Mの配線(バック信号入力・出力、車速信号入力・出力)が、車両信号線とナビゲーションの信号線※の間へ割り込ませる形で正しく接続されていることを確認してください。

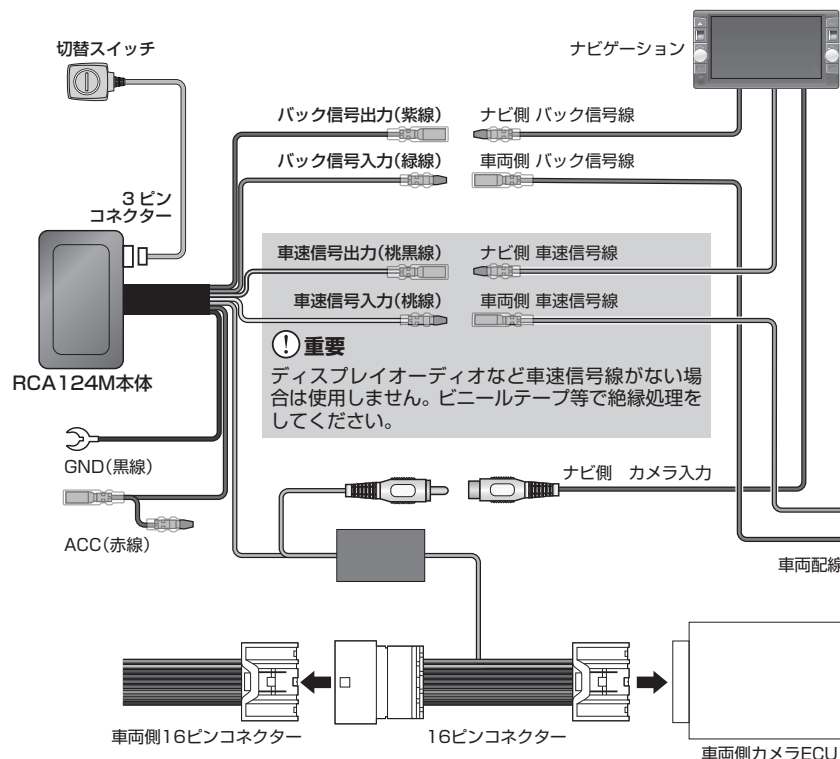
※ナビゲーションの配線や設定につきましては、ナビゲーション付属の取付・取扱説明書を参照ください。

接続概要図



本説明書はナビが装着されていない状態を前提としております。

既にナビが装着されている場合は、ナビの信号配線(車速・バック・パーキングブレーキ)をはずしてから作業を行ってください。



重要

ディスプレイオーディオなど車速信号線がない場合は使用しません。ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。



●映像が映らない、または映像に乱れが生じる場合は、ACCの接続先をオーディオ裏ではなく、シガーソケット裏や車両ヒューズ部など、電源容量の大きい所に接続してください。



●必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。

●装着されるナビによっては、本製品が作動中に車速に関するエラーメッセージが現れることがあります。この場合は本製品の車速信号入力および車速信号出力は使用せず、ナビ側の車速信号線を直接車両側の車速信号線へ接続してください。

●本製品の作動中は、ナビの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビへバック信号を出力し強制的にリアカメラ画面を表示しているためです。不正確になった自車位置は、本製品の作動停止後にナビのGPS機能によって補正されます。(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)